



国土交通省 関東地方整備局

Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism, Kanto Regional Development Bureau.

平成 26 年 5 月 15 日（木）
国土交通省関東地方整備局
鹿島港湾・空港整備事務所

記者発表資料

平成 26 年度 鹿島港湾・空港整備事務所の事業概要について

平成 26 年度の鹿島港湾・空港整備事務所の事業概要は以下のとおりです。

国内最大級のコンテナの海上輸送基地である鹿島港については、外貨貨物の増加と船舶の大型化に対応するとともに大規模地震に対する耐震性を強化するため、新たな国際物流ターミナルを整備しており、平成 26 年度においては、防波堤（中央）及び防波堤（南）のケーソン据付等を実施します。

茨城港常陸那珂港区については、建設機械等の世界的な需要拡大に伴う外貨 RORO 貨物の増大に対応するとともに大規模地震に対する耐震性を強化するため、新たな国際物流ターミナルの整備とともに、コンテナ貨物や RORO 貨物の効率的な輸送に対応する国際海上コンテナターミナル及び国際物流ターミナルの整備を行っており、平成 26 年度においては岸壁（-12m）（耐震）の裏埋・裏込工等及び防波堤（東）のケーソン据付等を実施します。

また、平成 22 年 3 月に開港した百里飛行場（茨城空港）については、航空機の便数増加等に対応するため、エプロン拡張に係る現地測量及び設計業務を実施します。

平成 26 年度の事業実施にかかる発注見通しは、以下の URL にて検索できます。

なお、当所の発注見通しには、昨年度に台風で被災した鹿島港外港地区南防波堤の復旧工事が含まれています。

<http://www.pas.ysk.nilim.go.jp/>

発表記者クラブ
竹芝記者クラブ
茨城県政記者クラブ
横浜海事記者クラブ
神奈川建設記者クラブ

問い合わせ先
国土交通省 関東地方整備局 鹿島港湾・空港整備事務所
副所長 <small>たちばな ゆうじ</small> 立花 祐二
TEL 0299 (84) 7712
FAX 0299 (84) 0057

茨城港常陸那珂港区中央ふ頭地区国際物流ターミナル整備事業

H26年度事業費：20.0億円

【茨城県】直轄

事業の概要

茨城港常陸那珂港区においては、近年、直背後に大手建設機械メーカーの製造工場が立地するとともに、企業立地が相次いでおり、建設機械や中古自動車の輸出を中心とする外貿RORO貨物の一大輸送拠点となっています。

また、東日本大震災の教訓を踏まえ、大規模地震発生後の緊急物資輸送の確保や、企業物流を維持するための耐震強化岸壁の整備が強く求められています。

このため、平成24年度から、建設機械等の世界的な需要拡大に伴う外貿RORO貨物の増大に対応するとともに、大規模地震に対する耐震性能を有する新たな国際物流ターミナル(水深12m)を整備します。

※RORO：ROLL ON ROLL OFFの略。貨物をトラックやフォークリフトで積み卸す水平荷役方式をいう。
水平荷役方式の貨物船(RORO船)は、船尾や船体の側面にトラック等の出入り用の開閉扉を有する。

平成26年度予定

岸壁(水深12m)(耐震)の裏埋・裏込工等を実施します。

事業の効果

新たな国際物流ターミナルの整備により、大型RORO船等による効率的な輸送が可能となり、地域産業の国際競争力が向上します。

また、大規模地震の発生に際しても、緊急物資等の海上輸送機能を確保できます。



茨城港常陸那珂港区外港地区国際海上コンテナターミナル等整備事業

H26年度事業費： 11.7億円

【茨城県】直轄

事業の概要

茨城港常陸那珂港区の背後圏である北関東地域(茨城県・群馬県・栃木県)は、首都圏の製造業の拠点として、工場立地が進展しており、域内等の生産・消費活動の拡大に伴い、常陸那珂港区を利用する海上輸送需要が増大しています。

このため、北関東自動車道等の広域道路ネットワークとの良好なアクセスを活かして背後圏と国内外とを結ぶ新たな物流拠点として、コンテナ貨物やRORO貨物の効率的な輸送に対応する国際海上コンテナターミナル(水深14m、12m)及び国際物流ターミナル(水深10m)を整備しています。

※RORO：ROLL ON ROLL OFFの略。貨物をトラックやフォークリフトで積み卸す水平荷役方式をいう。
水平荷役方式の貨物船(RORO船)は、船尾や船体の側面にトラック等の出入り用の開閉扉を有する。

平成26年度予定

防波堤(東)のケーソン据付等を実施します。

事業の効果

国際海上コンテナターミナル等の岸壁は既に供用しており、背後圏の立地企業の物流活動に利用されています。また、直背後に立地する建設機械メーカーの工場から大型建設機械が自走して直接船積みできることから、物流コストとCO₂の削減が図られており、企業の国際競争力が向上します。

このような企業活動の支援として、防波堤の延伸を図ることにより、港内静穏度が向上し、船舶の航行安全と岸壁での荷役作業の効率性が高まります。



事業の概要

鹿島港は、石油化学、鉄鋼、飼料、木材などの企業群が立地する国内最大級のコンビナートの海上輸送基地であり、外貨貨物の増加に対応する公共岸壁の整備が必要となっています。

また、東日本大震災の教訓を踏まえ、大規模地震発生後の緊急物資輸送の確保や、企業物流を維持するための耐震強化岸壁の整備が強く求められています。

このため、外貨貨物の増加と輸送船の大型化に対応するとともに、大規模地震に対する耐震性能を有する新たな国際物流ターミナル(水深14m)を整備しています。

平成26年度予定

防波堤(中央)及び防波堤(南)のケーソン据付等を実施します。

事業の効果

新たな国際物流ターミナルの整備により、大型船による効率的な輸送が可能となり、地域産業の国際競争力が向上します。

また、防波堤の延伸を図ることにより、港内静穏度が向上し、船舶の航行安全と岸壁での荷役作業の効率性が高まります。

さらに、大規模地震の発生に際しても、緊急物資等の海上輸送機能を確保できます。



ひゃくり ひこうじょう かくちょうじぎょう
百里飛行場エプロン拡張事業

H26年度事業費：0.2億円
【茨城県】直轄

事業の概要

百里飛行場（茨城空港）は平成22年3月に開港し、現在は国内線4路線と国際線2路線（うち1路線は運休中）が定期就航し、チャーター便もあわせて年間約40万人に利用されています。

さらに平成26年4月からは国内線が新たに2路線就航する予定であり、路線数、乗客数とも更なる増加が見込まれるため、航空機の便数の増加等に対応すべく、エプロン（駐機場）機能の向上を図るため拡張を行います。

平成26年度予定

エプロン拡張のための現地測量及び設計業務を実施します。

事業の効果

- ・ 定期路線、定期便数がさらに増加しても、チャーター便を制約無く運航できます。
- ・ 空港利用客の増加により、空港周辺地域の経済活性化に寄与します。

【位置図】

百里飛行場
(茨城空港)

